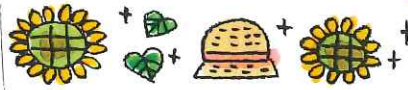


えほんの紹介



第50号



令和3年7月19日 茨木みのり幼稚園

子どもたちは絵本が大好きです。

幼稚園では、子どもたちの興味や発達に合わせて絵本を選び、読み聞かせをして、お話に親しんだり、イメージを膨らませたりしてゆったりとした時間を過ごすことも大切にしています。また、絵本の読み聞かせは、登場人物の気持ちになって絵本を見ることにより、子どもの感情を豊かに育ててくれます。ご家庭で絵本を読んでもらうことは、お家の人の声がいじり良く、子どもの安心感につながり、心の栄養となっていくことと思います。長い夏休み、少しの時間でもご家庭で絵本タイムを楽しんでみてください。今年度最初のえほんの紹介は、図書担当よりおすすめのエほんを紹介いたします！



〈なつやすみのなつやすみ〉 林木林作・ひかりのくに



夏の畑に夏休みがやって来ました。野菜たちはおけのプールにやってくる。オクラくんはぐるぐる泳ぎ、フチトマトくんはこころ泳ぎ、ピーマンくんはぶかぶか浮いてピカピカ泳ぎ、きゅうりくんはきゅうりきゅうり泳ぎます。そして、夏野菜たちは「今夜、おいしい料理になるう」と相談をして、おいしい夏野菜カレーと夏野菜サラダになりました。夏野菜について知ることまで、旬の野菜を使ってお料理したくなるお話です。



〈ぞらまめくんのベッド〉 なつやすみわ作・福音館書店



ロングセラーの絵本で、保護者の方も読んだことがあるのではないのでしょうか？ぞらまめくんの宝物は、くものようにふわふわでわたのようにやわらかいベッドです。枝豆くんやグリーンピースくんたちがこのベッドで眠らせて欲しいと言いますが、理由をつけて断ります。そんなある日、ぞらまめくんのベッドがなくなってしまう！哀しいぞらまめくん…。怒っていたみんなも一緒にさびせてくれ、見つけたベッドにはうずらの赤ちゃんがいました。ぞらまめくんはうずらの赤ちゃんにベッドを貸してあげることにしました。ほっこり優しい気持ちになれるお話です。

〈トマトさん〉 田中清代作・福音館書店



真っ赤に熟れたトマトさん。とても迫力のある絵本です。川で水遊びができます。悲しそうなトマトさん。でも、畑の虫たちがトマトさんの為に川で車を走らせたが、子どもたちは少し不気味なトマトさんに戸惑っていましたが、心温まるお話に最後はニッコリでした。



〈ラーチャのカレー〉 国松エリカ作・偕成社



ラーチャは南の島のカレー屋です。ラーチャは材料にぴったりのスパイスを見つけたり、混ぜ合わせたりするのが上手です。どんなに暑くてぐったりしていてもラーチャのカレーを口にすると、たちまち元気になります。ラーチャのカレーのにおいが漂うと、バザールや川で働く人たちが元気になります。絵本に出てくるカレーの作り方が本格的でスパイスの効いたカレーのにおいがしてきそうです。

〈たぬま、ティビッド〉 D. シャン作・評論社



子どもは好奇心の塊です。この絵本に出てくるティビッドもどろんこのまま家の中へ入ったり、お風呂に水をいっぱいためて海賊ごっこをしたり、おもちゃを思いきり出したままテレビに夢中で「かたづけなさい！」と叱られてしまいます。それでもなかなか懲りないティビッドは部屋の中で野球を始めます。そのボールが花瓶にあたって、花瓶が割れてしまいます。しょんぼり涙を流すティビッドにお母さんは「ほら、わかったでしょ」と声を掛けます。最後は「たいすきよ！」と抱きかかえられてこちらもほっとします。子育て中の保護者の方にもおすすめの絵本です。

〈ねこのおすし屋さん〉 鈴木まき子作・偕成社



海からはなれた山の中の小さな村にはお寿司屋さんがありませんでした。村のねこたちは、いつもお寿司が食べたければとっていました。

ある日、魚の形をけいこまがやきて、ねこたちはお寿司をたくさん食べました。ところがねこたちはお金を持っていない。おわびにねこたちは、魚を釣りに一緒に海に行くことにしました。そして、ねこたちはお寿司屋さんの弟子になって、さかなぐるまののり出掛け、今日もどこかでお寿司をにぎっているのです。